

報道関係各位

岩手県立大学 研究・地域連携室

**令和8年度 データサイエンス・リカレント講座 「DX 推進リーダー育成研修」を
県北（一戸町）で開催**

岩手県立大学は、岩手県および一戸町との共催により、「令和8年度 DX 推進リーダー育成研修」を一戸町役場にて5月29日（金）に開催いたします。

急速に進む人口減少・高齢化や地域課題の複雑化など厳しさを増す情勢の中で、自治体は、業務の見直しやデジタル技術の活用などにより、付加価値の高い業務や生産性向上、政策立案業務などに限られた職員や財源を振り向けるとともに、働きやすさの改善を目指しています。

自治体における本質的なDXを進め、業務を見直し、現場を担う職員と住民双方にとって恩恵のある取組の実現を目指し、今般、岩手県立大学主催（岩手県・一戸町共催）により下記のとおり研修を開催いたしますのでお知らせします。

記

- | | |
|-------|---|
| 1 研修名 | 令和8年度 データサイエンス・リカレント講座「DX 推進リーダー育成研修」 |
| 2 日時 | 2026年5月29日（金） 10:00～17:00（開場 9:30） |
| 3 会場 | 一戸町役場 3階 大会議室（岩手県二戸郡一戸町高善寺字大川鉢 24 番地 9） |
| 4 対象 | 県内自治体職員（一戸町ほか、県内自治体から参加） |
| 5 主催 | 岩手県立大学 |
| 6 共催 | 岩手県、一戸町 |
| 7 後援 | 岩手県市長会、岩手県町村会 |

※当日のプログラムについては、添付のチラシを確認願います。

【問合せ先】岩手県立大学 研究・地域連携室 長内

TEL019-694-3330

e-mail : h_osanai@ipu-office.iwate-pu.ac.jp





地域に 未来に 多様なアートを
岩手県立大学
Iwate Prefectural University



令和8年度 データサイエンス・リカレント講座

DX推進リーダー 育成研修

DIGITAL TRANSFORMATION LEADERSHIP
TRAINING PROGRAM

参加費
無料

要事前
申し込み

2026
5/29 金

10:00-17:00
(開場 9:30)

会場

一戸町役場 3階 大会議室

〒028-5311 一戸町高善寺字大川鉢24番地9

お申し込み方法 ※一戸町職員以外の方

参加申し込みは専用フォームから

<https://forms.gle/2tn4nr9iDh359tsK9>

申し込み締切：5月22日(金)

※一戸町職員の方は政策企画課へお申し込みください



研修詳細はWEBへ

CLICK HERE

<https://ipu-chiren.my.canva.site/r8dxleader>

開催趣旨

「システム導入は難しい」「前例がない」「予算がない」…そんな悩みを解消するヒントが見つかる！自治体DXの本質を掴み、現場で実践できるリーダーを育成する研修です。業務プロセス改善、住民目線サービス…具体的なDX推進方法を共に考えましょう。

基調講演 01

みんなにやさしい「脱デジタル宣言」

～「旅する」副町長による

働き方を再デザインする

磐梯町の挑戦～

福島県磐梯町「旅する」副町長

菅原直敏 氏



やめることから考える DXワークショップ 02

総務省等DXアドバイザーの馬場啓太氏が全体ファシリテーターとなり、磐梯町の菅原副町長も講師として参加。

BPR（業務改善）のフレームワークを学ぶワークショップ。全国で開催している人気のプログラムです。



プログラム

10:00~10:05 主催挨拶 岩手県立大学 研究・地域連携本部長 ほか

10:05~12:00 基調講演 磐梯町「旅する」副町長 菅原直敏氏

12:00~13:00 休憩

13:00~16:00 ワークショップ 「やめることから考えるDX」

16:10~ DXよろず相談 DXアドバイザーによる個別相談

概要

対象 自治体職員

定員 基調講演 100名

ワークショップ 40名

※どちらかみの参加も可能です

運営 CoCo Consulting株式会社

問い合わせ先 | 岩手県立大学 研究・地域連携室 TEL:019-694-3330 Email: chiren@ml.iwate-pu.ac.jp

主催 | 岩手県立大学 共催 | 岩手県・一戸町 後援 | 岩手県市長会・岩手県町村会

自治体職員の「働き方」が変わる！ 多くの支持をいただいたDX研修

第1部 基調講演の参加者満足度

94.3%

※「満足」「やや満足」の合計（有効回答35名中33名）

第2部 ワークショップの 業務活用度

85%

※「活用できる」「やや活用できる」の合計（有効回答20名中17名）

■ 参加者層：第1部の基調講演は管理職向けとして実施し、第2部のワークショップには主事級から課長級まで幅広い職層の皆様にご参加いただきました。階層を超えた学びと対話の場として、多くの自治体職員様に大好評をいただいております。

受講者の声（アンケートより一部抜粋）

「個人的に、これまででいちばん聴き応えのある講演会であった。」

（大船渡会場 参加者）

「DXは業務の効率化ではなく適正化であるといった本質に迫る内容で、働き方を考える上で大変参考になるものだった。」

（奥州会場 参加者）

「とても未来が明るくなるような前向きなご講義でとても有意義な時間でした。意識の改革からコツコツと取り入れたい。」

（奥州会場 参加者）

「長く勤務していて、必要な仕事であると認識していても『必要なのだろうか』と疑問を感じる部分へ一石を投じる考え方でした。」

（大船渡会場 参加者）

「これはやめてもいいんじゃないかと思う風習や業務がけっこうあるので、今回の研修に基づく方法で廃止したり簡素化できると大いに感じた。」

（大船渡会場 参加者）

「休む事を前提に設計する重要性、地域に人材を呼び込めない要因にまでなるとは思い至りませんでした。」

（奥州会場 参加者）

本研修で得られる「3つの視点」

- ✓ 「やめる・なくす（E CRS）」から始める業務見直し手法
- ✓ 住民サービス向上だけでなく「職員の心身のゆとり」を作る重要性
- ✓ 属人的な業務体制からの脱却と、新しい取り組みへの余力創出

こんな職員様におすすめです

- ✓ 4月に異動してきたばかりで、今の業務プロセスに疑問を持っている方
- ✓ 「現場がバンク寸前でDXどころではない」と悩んでいる中堅職員の方
- ✓ 組織の「当たり前」を打破したい、各課のデジタル推進リーダー候補

年度初頭の「今」だからこそ、受講する価値があります！

次回 5月29日(水) 一戸会場（県北エリア）にて開催
皆様のご参加を心よりお待ちしております。